川崎市議会議
本間賢次郎 ケンジロウ
市政レポート No.68（令和8年3月号）

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

市政レポートNo.68発行にあたり

先月23日（天皇誕生日）に2年ぶりの春一番が吹いたとのことです。異常気象から「四季の感覚が薄れつつある」との声も聞かれる昨今、「春一番」と聞くとやはり気持ちも春めいて、晴れやかに感じます。本格的な春を迎えるまで、三寒四温を繰り返しながら季節は進んでいきますので、皆様におかれましては、お身体をお大事にされ、お健やかにお過ごしになられますことをお祈り申し上げます。

労働会館の供用開始、さらに延期へ

昨年11月の常任委員会へ「労働会館の大規模改修工事」の工期延長が発表され、各委員会、そしてこの度の本会議において厳しい指摘が相次ぎました。

同5月に建築図面にないものへの対応として「7ヶ月以上の工期延長が必要」と速報がありましたが、結果として5月に見込んだ期間よりも倍近くにも及ぶ工期延長となったことは、事前調査の在り方そのものの精度に疑問符がつくものであり、事業計画の策定に決裁を下した経済労働局の責任は重大です。本事業の当初計画では、令和5年度に着工し、令和6年度中の供用開始とされていましたが、入札不調による着工の遅れ、昨年と今般の図面にないものへの対応が相次ぎ、供用開始は当初計画に比べ2年半以上遅れることとなります。

我が会派は代表質問において、計画策定前より調査結果の妥当性を問い続けてきた経緯もあり、事前調査の在り方、図面管理の重要性を改め

て質しました。そして、これだけの遅延を招いたことについて、供用開始を心待ちにしている川崎区民、関係団体、計画策定にご協力頂いた方々への説明責任の必要性を求め、行政が丁寧に説明を行う旨の答弁を得ました。

※令和3年策定の再編整備基本計画では、令和6年度に供用開始予定も入札不調により以下のようにスケジュールを変更し、その後も変更が相次いでいます。

下：計画スケジュール変更の経緯（最下段が最新のスケジュール）

